



兵協連だより

HYOGO CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

2015 **10**



9月18日(金)・19日(土)、協同学苑(兵庫三木市)にて、兵庫JCC「第1回虹の仲間づくりセミナー」を開催、39名が参加しました。このセミナーは、兵庫県内を中心とした協同組合の職員の交流と、協同組合の役割を確認して自分の仕事とのつながりについて考えることを目的として開催されました。2日間の研修を通し、次世代を担う協同組合の役職員が、ともに学び交流を深めました。(関連記事 P.3)



尼崎市民共済生活協同組合
常務理事

本田 良生
(ほんだ・りょうせい)

尼崎市民共済60周年を迎えて

尼崎市民共済生活協同組合は、昭和30年12月に創立し、今年で60周年を迎えます。火災共済及び交通等傷害共済を事業の柱としておりますが、組合創立に際しては、尼崎市をはじめ市内各町会、消防団、婦人会、労働組合等の協力により創立された沿革誌に記されています。また火災共済契約においても市内各町会、消防団、婦人会、労働組合等の協力を得て一斉募集を開始したとあります。共済事業は地域との結びつきが強く、今も地域とともに歩む、地域密着型となっております。地域密着型は、市民共済事業の原点であると思っております。

さて、これまでの周年事業は、記念式典として、組合事業の発展に寄与された関係者の表彰が主な内容でありました。しかし今回は、職員からこれまでの記念式典を取りやめ、組合員一人ひとりに還元できる60周年にはどうかという意見がありました。この意見を踏まえ視点を改めて考えてみました。記念品の贈呈とか色々な案が出ましたが、最終的には組合員の火災共済掛金の割

戻率を引き上げることに意見がままりました。この火災共済掛金の割戻率については、毎年決算後、剰余金が生じたときに割戻金として組合員にお支払いしております。昨年は掛金の35%相当額を割戻しました。今年「組合員一人ひとりに還元する60周年」として、割戻率を44%と、昨年より9ポイント高く積算することができました。良好な運営状況の結果であると思っておりますが、今後も高い割戻率の確保に努めたいと考えております。

一方、来年は尼崎市が大正5年に誕生して100周年を迎えます。兵庫県下では、神戸市、姫路市について3番目です。これまでの100年を振り返るとともに、尼崎の魅力を再発見し、誇りを持って新たな一歩を未来に生かし、次世代を担う子供たちに繋げていくことを願っております。

組合創立60周年、尼崎市市制100周年を機に、共助・協同の輪を更に広げ、地域と顔の見える関係を築き、その役割を十分果たせるよう取り組んでまいります。

CONTENTS

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 兵庫 JCC「虹の仲間づくりセミナー」報告／第27回近畿地区生協・行政合同会議 報告 4. 兵協連「第2回 東日本被災地支援活動」報告／第18回「監事研修会」のご案内 5. 単協通信 生活協同組合コープこうべ／神戸市民生活協同組合 | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 8. 兵庫県からのお知らせ／赤い羽根共同募金／県連日誌／編集後記 |
|---|--|

“共に働き、共に捧げる”協同組合の本質を学ぶ

兵庫JCC「虹の仲間づくりセミナー」で協同組合の仲間が集う

2012年の国際協同組合年を契機とし、多様化かつ複雑化する社会の中で協同組合の役割を模索する動きが広がっています。兵庫県の協同組合は賀川豊彦の思想を共有し、また、兵庫JCCを中心とした日常的な連携により、強い結びつきを持っています。

そこで、県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）では、次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、暮らし、地域、社会のなかで果たすべき役割について、ともに考えるためのセミナーを全3回の連続講座として開催します。

まず、第1回目は、9月18日（金）19日（土）、「自分の仕事と協同組合のミッションがつながる」ことを目的に、生活協同組合コープこうべ 協同学苑にて開催、39人が参加しました。1日目は、セミナー開催のスタートとして、協同学苑 野尻 武敏 学苑長が「協同組合の歴史と理念～現代社会に求められるもの～」をテーマに講演。これからの協同組合を担う職員にエールを送りました。午後は、各4団体からの活動報告やグループワークを行い、交流を深めました。2日目は、たつの市の「ヒガシマル醤油株式会社」、「担保の糸資料館」を訪れ、協同組合と地元生産者、地元企業との連携で生まれる地産地消の商品の「良さ」「らしさ」について学びました。また、「ヒガシマル醤油」醸造用大豆が契約栽培されている圃場を訪れました。セミナー生は積極的に質問し、生産者の方々の熱意を受け留め、「生産者にとって、消費者にとって、地域にとっての幸せとはなにか？」を考えながら協同組合について学び合い、交流を深めるセミナーとなりました。



グループワークで気づきを共有しました



大豆の圃場で生産者の方からお話を伺いました

【兵庫県協同組合連絡協議会（＝兵庫JCC）】

CO-OP（生協）、JA（農協）、JF（漁連）、Jforest（森林組合）など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。

安心・安全な暮らしを支えるための活動の交流と連携を ～第27回近畿地区生協・行政合同会議～

テーマ：「安心してらせる地域社会づくりをめざして」

8月31日（月）、「第27回近畿地区生協・行政合同会議」が御所西京都平安ホテル（京都市上京区）にて開催されました。この会議は、福井・滋賀・奈良・和歌山・兵庫・京都・大阪の近畿2府5県の生協連で構成する「近畿地区生協府県連協議会」の主催により開催。地域住民の安全・安心な暮らしを支えるために、生協と行政のパートナーシップを深めることを目的としています。



当日は、厚生労働省社会・援護局地域福祉課消費生活協同組合業務室をはじめ、日本生協連、近畿地区2府5県の生協行政担当者および生協連役職員の計43名が参加。全国の生協の概況報告が行われました。

また、「新しい地域支援事業と生協への期待～これからの地域に何が求められているか～」をテーマに社会福祉法人協同福祉会 理事長 村城 正 氏が特別報告。介護保険制度改正を背景に、高齢者福祉の視点から、これからの地域支援事業についての報告がありました。次に、社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア・市民活動センター 瀧辺 隆之 氏による「おおさか災害支援ネットワークの活動について」、奈良県生活協同組合連合会 辻 由子 専務理事による「奈良県内の生活支援サービス・活動のネットワークづくりに向けて」、京都府農林水産部 食の安心・安全推進課 津田 義郎 副課長による「京都府 食の安心・安全推進条例の成果と今後」、適格消費者団体 京都消費者契約ネットワーク 長野 浩三 理事・事務局長（弁護士）による「京都消費者契約ネットワーク（KCCN）の活動報告～サン・クロレラ京都地裁判決の意義～」、適格消費者団体 消費者支援機構関西 二之宮 義人 常任理事（弁護士）による「消費者支援機構関西 KC'sの活動報告～この間の活動報告と消費者裁判手続特例法について～」の報告が行われ、現状の問題点や活動の方向性などを共有しました。また、引き続き開催された懇親会では情報交換を含め、貴重な交流の場となりました。

被災地を忘れない風を起こそう..

～兵協連 第2回「東日本被災地支援活動」報告～

兵庫県生協連では、会員生協とともに宮城県亘理郡山元町を中心に定期的、継続的な生活支援活動を行っています。9月11日（金）～13日（日）、今年度2回目の山元町での支援活動に、コープこうべの政平浩一さん、西宮市職員生協の宮田正樹さん、兵庫県生協連 三輪薫 事務局次長の3名が、神戸医療生協の震災支援活動を中心とした非営利法人「一般社団法人ING」の5名の方々とともに参加しました。

11日午後、福島県いわき市に到着。福島県浜通り医療生協 組織部 工藤史雄 組織主任と合流し、被災地エリアを視察。夜半、宮城県の「支援センター」に到着。翌日の健康チェックの準備とともに活動の打ち合わせをしました。

12日午前、山元町のJR 山下駅跡、中浜小跡、新坂元駅予定地、山元町災害公営住宅等を視察。その後、ナガワ仮設住宅、牛橋区民会館での支援活動（健康チェック、ゲーム等）、コミュニティセンター建設予定地の草刈りを実施。また、宮城県県南医療生協 児玉芳江 常務理事にご同行いただき、名取市閑上地域の視察を行いました。

13日は、女川医療センターにて復興状況の視察。「女川原子力PRセンター」の見学及び女川原発を間近に臨みました。

.....

福島原発事故避難指示区域は放射線量により「帰宅困難地域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」に分かれています。帰宅困難区域は立入りするには許可が必要で、その他は日中のみ立入りが可能。従って立入りが制限されている区域では震災直後に近い状況が残されています。広野町、楡葉町、富岡町と順に北上していくと、作付けされ収穫目前の水田から放置され荒れた水田に変わっていく。福島のコメは全量検査されており、基準値を超えるコメはないとのこと。あちこちに除染廃棄物の土嚢袋が積み上げられていますが、地元の人にとって「中間貯蔵所」は「最終処分場」と同じ意味。汚染された廃棄物を受け入れる場所が現れるとは考えていないという。工藤氏からは福島状況とともに2つの原発公害訴訟についても詳しく説明をしていただきました。今なお、4万5千人の方が県外、5万6千人の方が県内に避難を余儀なくされています。止まない「風評被害の風」、強まる「災害風化の風」を飛ばす風が必要です。被災地を忘れない風を起こして行こう。

宮城県山元町では、災害公営住宅への入居が進み「ナガワ仮設」は130世帯から24世帯に。JR 常磐線の新山下駅と新坂元駅の建設も進み、29年春に運転再開の予定。「健康づくり」と「まちづくり」を中心とした支援を継続しながら「仕事」と「住まい」への支援が求められる時期になっています。



福島第2原発を臨みながら視察



コミュニティセンター建設予定地の草刈り

兵庫県・兵協連 共催

2015年度 第18回「監事研修会」のご案内

組織運営の健全性を高め、取り組みの進捗状況や補強すべき課題などについて正しくご理解いただくために、兵庫県生協連では、理事・監事および職員を対象に監事研修会を開催しています。今年度の「監事研修会」は、兵庫県より「指導検査」にもとづき具体的な指導をいただき、監事のみなさまに「監事業務のポイント」を中心に研修を実施いたします。会員生協の理事、監事のみなさま、担当職員のみなさまのご参加をお待ちいたしております。

日 時：11月5日（木）13時30分～16時30分

会 場：兵庫県民会館 9階 902号室

定 員：50人

対 象：会員生協の監事および理事、ならびに担当職員

内 容：◆講演

「監事・監事会の役割と指導検査で見受けられる問題点」

講師：兵庫県企画県民部消費生活課 主幹 石田千春氏

「監査業務を遂行するにあたって～改正生協法後の監事業務～」

講師：(株)MMコンサルティング 三宅 充氏



お申し込み・お問い合わせ：兵庫県生活協同組合連合会 TEL (078) 391-8634

生活協同組合コープこうべ

「食と農林漁業の食育優良活動表彰 農林水産大臣賞」を受賞

コープこうべは、食育活動に積極的に取り組んでいるとして、「第3回 食と農林漁業の食育優良活動表彰 農林水産大臣賞（企業部門）」を受賞しました。

受賞内容は、1924年（大正13年）の家庭会創設から、組合員自らが企画・実施する料理会・学習会をはじめとする組合員同士の教えあい活動、生産者交流などを通じて、食育活動を長年にわたって推進してき



中川郁子農林水産大臣政務官（左）から記念の盾を授与される本田英一組合長理事



漁師体験プログラムに参加する親子

たこと。また、フードチェーンを通じた兵庫県の漁業・魚・魚食に関する食育活動の実践や、「エコファーム」での学習活動が高く評価されたものです。

9月10日、東京都内で表彰式が行われ、本田英一組合長理事が出席、中川郁子農林水産大臣政務官から賞状と記念の盾が手渡されました。

（通信員 榊原 晶子）

神戸市民生活協同組合

「自転車交通安全講習会」で事業を紹介

7月31日（金）、加古川市の学習塾「エソデバー」（加古川市総代 菅原弘嗣塾長）において塾生と保護者を対象に行われた保護者会にて「神戸市民生協・交通安全ワンポイントアドバイス」を実施いたしました。

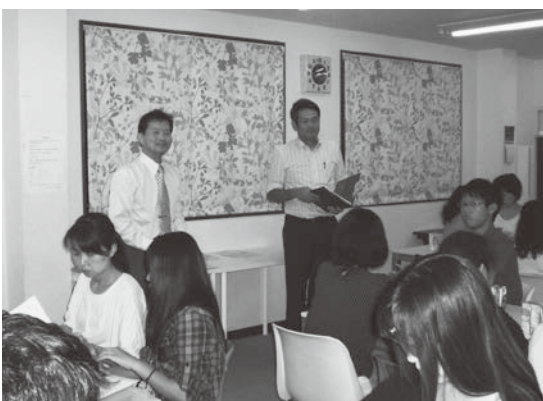
夏休みで外出の機会が多くなる子供達へ交通安全反射ステッカーの配布や事故防止の啓発を行い、交通安全への意識を高めていただくとともに、保護者の方へは、交通事故に対する備えとして共済事業等のPRを行いました。

当日、「交通安全ワンポイントアドバイス」として歩行中や自転車乗車中の事故防止対策を説明し、6月1日から道路交通法改正により危険な交通違反を繰り返す違反者に「自転車運転者講習制度」が開始されたこともお伝えしました。

また、10月1日から「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」により、兵庫県内で自転車を利用する場合、保険等に加入しなければならぬ「賠償責任保険の加入義務化」についても詳しくご説明しました。

自転車は身近な乗り物でありながら、利用する際の注意点を知らない方がたくさんおられます。こういった機会を通じて交通安全の知識を広くお伝えし、少しでも組合員の方々のお役に立てる生協でありたいと思います。

（通信員 鹿田 裕子）



好評の自転車交通安全講習会

協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

「兵庫のり」を
ミラノ万博でPR！
～イタリア風おにぎらずの実演も～



2015年ミラノ国際博覧会が「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに145カ国の参加のもと、5月1日～10月31日までの184日間、開催されています。

各国のパビリオンでは、様々な食文化や食料の持続可能性についてのアイデアを紹介しています。とりわけ日本館は『共存する多様性』をテーマに、ユネスコ無形文化遺産の和食や日本食文化の知恵と技、農林水産業や食への取組み等について紹介しており、連日、入館に60分以上の待ち時間という参加国内で一番の人気パビリオンとなっています。また、日本館内にはイベント広場が設けられ、各県・市・団体が交代でPRを行っており、兵庫県は7月16日～19日の4日間、世界に向けて兵庫の特産品として、コウノトリ米、丹波の黒豆、揖保の糸、神戸ビーフ、淡路の玉ねぎ、灘の清酒、明石焼き、そして、観光では世界遺産の姫路城等が日替わりでイベントを開催しました。

「兵庫のり」の出番は、兵庫県最終日の19日の午後からでした。まず、挨拶に立ったJF兵庫漁連 山田隆義会長は「ノリは和食に欠かせない。栄養価の素晴らしい食材であります」とされたのに続いて、日本でブームになっているおにぎらずを紹介し「どの国の具材を挟んでも美味しいですよ」と世界に向けて大いにPRされました。

その後、イタリア人シェフによるおにぎらずの作り方の実演とともに、生ハムとチーズ、生バジルを挟んだ“イタリア風おにぎらず”が480食分配られ、会場の皆さんからは「ポーノ」、「デリシャス」といった声上がり、大盛況のうちに2時間が過ぎました。



会場の皆さんの評価は上々

JA

JA 兵庫六甲

三田産トマト使用
オリジナルソース新登場

JA 兵庫六甲 三田営農総合センターはこのほど、七星ソース株式会社（篠山市）と連携し、三田産のトマトを使用した「三田とまと使用 とんかつソース」の販売を開始しました。加工品の販売拡大で、農業所得の向上やトマトの生産振興につなげるのが目的です。

三田市では同JAの三田とまと部会15人が年間約14tのトマトを生産しています。原料は規格外品を活用し、トマトの風味を生かした甘味のあるソースに仕上げました。1本（270ミリリットル）550円（税別）。

同JAの農協市場館 パスカルさんだ一番館やパスカルさんだフラワー店など、15店舗で販売する予定。パスカルさんだ一番館では「独特の甘みがあり、肉料理にとどまらず、野菜にも合うので様々な料理に使ってほしい」と話しています。

問い合わせは農協市場館パスカルさんだ一番館、TEL：079-563-7744。



トマトの風味を生かした
「三田とまと使用 とんかつソース」



【ひょうご出会いサポート東京センターOPEN!!】

兵庫県では少子化の大きな要因の一つである「未婚化・晩婚化」対策として、平成11年以来、「ひょうご出会い支援事業」を推進しており、本年4月には成婚カップルが1,000組に到達しました。

このたび、この取組みを一層充実するとともに、兵庫県へのUIターン者の増加を図るため、「ひょうご出会いサポート東京センター」を開設し、東京近辺に在住の兵庫県ゆかりの方などに対して出会いの支援を実施します。

結婚を希望される独身の方は、東京センター及び兵庫県内に10カ所ある出会いサポートセンターで1対1のお見合いをすることができます。活動するには、会員登録が必要です。(登録手数料 5,000円) 多くの皆様のご入会をお待ちしています。

問い合わせ先 TEL 078-891-7415
「ひょうご出会いサポートセンター」

ひょうご出会い

検索



ひょうご出会いサポート東京センター

〒100-8228
東京都千代田区大手町2丁目6-4 パナグループ本部ビル B1階
TEL:03-6262-3035 FAX:03-6262-3036
URL: <http://hdsc.seishonen.or.jp/>
開館日/火・水・金 10:00~18:30 土 10:00~17:30
休館日/月・木・日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

兵庫連だよりをご覧のみなさま。こんにちは。適格消費者団体NPO法人ひょうご消費者ネットの吉江です。

今年は秋の訪れが早いですね。秋の風に吹かれると、急に、あの、まわりつくような夏の空気が、懐かしく思えてしまいます。夏に置いてけぼりにされたような、そんな気分になってしまいますね。

さて、今回は、私たちに寄せられた被害情報が、どのように検討されていくのか、事業者への申入れは、どのように行っているのか、についてお話ししたいと思います。

ひょうご消費者ネットには、被害情報の内容や契約約款を法的な側面から調べる「検討委員会」という委員会があります。検討委員会は、弁護士や司法書士、学者、消費生活センター相談員の方等で構成されています。ここでは、被害情報等の内容が、法律に違反して不当なものかどうか、適格消費者団体として申入れを行えるか、また、さらに詳しい調査をするべきかどうかを話し合っています。

事業者への申入れは、とても影響の大きな行為です。それだけに、私たちが慎重に検討して、申入れを行っています。みなさまからの被害情報は、私たちの申入れ活動の根本です。これからも、よろしくお願ひ申し上げます。

(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

～兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課からのお知らせ～

早期発見にはがん検診

兵庫県の平成25年の死因第1位は“がん”です

定期的ながん検診を受けると、「がんになる前の病変を見つけて、がんになることを防ぐ」「症状がでる前にがんを見つけ、治療にかかる負担を少なくする」ことができます。対象の方は是非、受診を！

検診の種類	対象者	受診間隔	主な検査方法
胃がん検診	40歳以上の男女	毎年	胃エックス線検査
大腸がん検診			便潜血検査
肺がん検診			胸部エックス線検査、喀痰細胞診検査
乳がん検診	40歳以上の女性	2年に1回	マンモグラフィ（乳房エックス線）＋視触診併用検査
子宮頸がん検診	20歳以上の女性		子宮頸部の細胞診検査

お住まいの市町がん検診担当課または下記サイトへ。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/shityomadoguti.html>

ピンクリボンフェスティバル2015神戸

ピンクリボンフェスティバルは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝えます。神戸では、10月25日（日）にシンポジウム、11月7日（土）にスマイルウォークが開催されます。詳しくはピンクリボンフェスティバル公式サイトまで。→ www.pinkribbonfestival.jp

やさしさが 必ずとどく 赤い羽根



兵庫県共同募金マスコット
あかほねちゃん

赤い羽根共同募金
10月1日(木)～12月31日(木)

10月1日から、赤い羽根共同募金運動が始まります。

◆
お寄せいただいた寄付金は、県内の地域福祉活動の推進に役立てられます。

◆
また、寄付金の一部は、大規模災害発生時における被災地でのボランティア活動を支援するために積み立てられています。

◆
今年度も、あたたかきに協力をお願いします。

社会福祉法人 兵庫県共同募金会

www.akaihane-hyogo.or.jp

県連日誌

10月5日(月) 兵協連第3回理事会・第14回兵庫県企画県民部と

兵協連理事会との懇談会

10月8日(木) 2015年度兵庫県生協大会 (県民会館 1201)

10月9日(金)～11日(日) (県民会館 けんみんホール)

兵協連 第3回

「東日本被災地支援活動」

10月15日(木)・16日(金) 兵協連 (宮城県・福島県)

保健・医療・福祉研究会 研修

10月26日(月) 兵協連 監事会 (上期監査) (奈良・あすなら苑)

(兵協連事務所)

編集後記

「虹の仲間づくりセミナー」がスタート！(P3参照)。生協、農協、漁協、森林組合の職員が一堂に会して交流しました。地産地消を実践する地元企業の見学では、「地域の方々に『この企業が地域にあって良かった』と思ってもらえることをめざしています」というお話がとても印象的でした。また、大豆の契約栽培農場の生産者の方からは「自分たちの作った大豆がどんな商品になるのか、わからないのとわかるのでは、まったく違う」「肥料は大事だが、一番大事なのは(商品)や育てた農作物に愛情を注ぐかどうかだ。」と。うーん、深い。今日から、我が家のちっちゃな家庭菜園の青ネギとブロッコリーたちに、もっと話しかけて(?) みようと思います。(中尾)